

令和2年度 事業報告

【事業報告の概要】

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、社会全体が今までに経験したことのない自粛生活を強いられ、これまで、当たり前であった日常生活が大きく変化しました。各種イベントや大会の中止、学校の臨時休業や公共施設の一部休館など、刻一刻と変わる状況に戸惑い、不安を感じた1年でした。

大垣市社会福祉協議会（以下「本会」という。）におきましても、地域住民等によるいきいきサロン、食事サービス、高齢者を囲む会、行事では社会福祉大会、ふれあいのまちづくり推進大会、ボランティア交流会、ボランティアスクール等、活動は休止や延期等活動自粛を余儀なくされました。

「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」の実現を基本理念とする本会では、コロナ禍、不足するマスクやエタノール消毒液等の対応、生活に困窮している方への食糧支援を目的に大垣市と共同して「むすぶプロジェクト」を立上げ、広く市民の皆さんから物資のご寄付とボランティアの募集を行い、物資を必要とする方々等に配布いたしました。また、令和2年3月より開始された生活福祉資金特例貸付の受付窓口として職員一丸で取り組みました。一方で、障がい者福祉・高齢者福祉等における生活に不可欠な相談及びサービス事業については、感染予防を講じながら継続しました。

令和元年に策定した第4次地域福祉活動計画「みんなでいいまちつくろうよ」の事業遂行については、コロナ禍、「感染拡大防止」と「地域福祉活動の再開」の両立を図りながら、さまざまな制限がある中、ICTを活用したオンライン会議や講座の開催や動画配信など、新しい形態による「つながりづくり」を試みました。地域福祉活動においては、20地区社会福祉推進協議会（以下、地区社協という。）をはじめとした行政・関係機関・団体との連携を密にし、「あんしん見守りネットワーク」や「生活支援体制整備事業（支えあいの会）」等の活動を継続しました。

また、社会福祉法人や社会福祉協議会を取り巻く経営環境は大きく変化し、責任と透明性のある組織団体として責務を遂行するために、本会の情報発信媒体であるホームページをリニューアルしたほか、新たな財源の確保を目指し、本会の発行する広報物に有料広告を掲載するなど、事業をより見える化し、地域住民の皆さんに信頼を得れるように努めました。

いまだ、終息の見通しは立っていない現状で、「新型コロナウイルスと共にある」という新しい時代に求められる施策を市民の皆様、地区社協、自治会、各種団体、行政と協働し、「オール大垣市社協」で着実に事業を実施しました。

【使命・経営理念への取り組み】

「基本方針」を柱として4つの使命・経営理念の実現への取り組み

- (1) 住民参加・協働による福祉社会の実現を図りました。
- (2) 地域における利用者本位の福祉サービスの実現を図りました。
- (3) 地域に根ざした総合的な支援体制の実現を図りました。
- (4) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦を図りました。

【重点目標への取り組み】

市社協「使命・経営理念」の実現に向けて、6つの重点目標を掲げ、その目標の達成への取り組み。

- (1) 社協基盤の強化の推進を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
- (2) 福祉のまちづくりの推進を図り、地域福祉活動の活性化に努めました。
- (3) ボランティア・市民活動の推進を図り、ボランティアセンター機能の充実に努めました。
- (4) 福祉教育、啓発・交流の推進を図り、ともに生きる地域社会の実現を目指しました。
- (5) 情報提供・相談体制、福祉課題の把握の推進を図り、総合的な相談体制の充実に努めました。
- (6) 在宅福祉サービスの推進を図り、質の高いサービスの提供に努めました。

1 総務部会

(1) 組織機能の強化

ア 理事会、評議員会、専門部会の活性化

法人組織体制の強化を図るため、理事会、評議員会、専門部会、特別委員会（訪問看護ステーション運営・専門委員会）等を開催しました。

【会議の開催状況】

名 称	日 付	主 な 内 容
理事会	R02. 05. 22 (決議の省略)	1. 令和元年度 事業報告及び収支決算の承認について 2. 令和2年度 第1次収支補正予算について 3. 役員等選任に関する規程の一部改正について 4. 評議員及び役員候補者の推薦について 5. 令和3年度 共同募金配分事業の申請について 6. 令和2年度 定時評議員会の招集について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について
	R02. 09. 16	1. 令和2年度 第2次収支補正予算について 2. 評議員及び役員候補者の推薦について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 令和2年度 第2回評議員会の招集について
	R03. 03. 17	1. 令和2年度 第3次収支補正予算について 2. 評議員選任・解任委員の選任について 3. 就業規則他各種規程の改正について 4. 令和3年度 事業計画及び収支予算について 5. 重要な職員の任免について 6. 役員等賠償責任保険契約について 7. 令和2年度 第3回評議員会の招集について 8. 指導監査に係る指摘事項等について 9. 会長及び常務理事の職務執行状況について
評議員会	R02. 06. 11 (決議の省略)	1. 令和元年度 事業報告及び収支決算について 2. 令和2年度 第1次収支補正予算について 3. 役員等選任に関する規程の一部改正について 4. 理事の選任について
	R02. 09. 30 (決議の省略)	1. 令和2年度 第2次収支補正予算について 2. 監事の選任について
	R03. 03. 30	1. 令和2年度 第2次収支補正予算について 2. 令和3年度 事業計画及び収支予算について

名 称	日 付	主 な 内 容
評議員選任・ 解任委員会	R02. 05. 29 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
	R02. 09. 23 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
総務部会	R02. 05. 14 (書面報告)	1. 令和元年度 事業報告及び収支決算について
	R03. 02. 12 (書面報告)	1. 令和2年度 決算見込みについて 2. 令和3年度 事業計画及び収支予算について
地域部会	R02. 05. 08 (書面報告)	1. 令和元年度 事業報告について 2. ふれあいいきいきサロン事業について 3. 食事サービス及び高齢者を囲む会臨時助成事業について
	R03. 01. 21 (書面報告)	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和3年度 事業計画について
ボランティア部会	R02. 05. 08 (書面報告)	1. 令和元年度 事業報告について 2. ボランティア講座について
	R03. 01. 22 (書面報告)	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和3年度 事業計画について
事業運営部会	R02. 05. 08 (書面報告)	1. 令和元年度 事業報告について
	R03. 01. 26 (書面報告)	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和3年度 事業計画について
訪問看護 運営委員会	R02. 02. 10 (書面報告)	1. 運営状況について 2. 専門委員会の報告について
訪問看護 専門委員会	R02. 10. 21	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について
	R03. 01. 20	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について

イ 正副会長会の開催

法人運営の業務執行状況の確認や、理事会、評議員会の議案調整のため正副会長会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R02. 06. 17	1. 本会主催等の会議、イベント当開催状況について 2. 評議委員の変更について 3. 生活福祉資金貸付相談状況について 4. 福祉大会被表彰者について
R03. 01. 22	1. 評議員の定数について 2. 人事給与制度の見直しについて

ウ 苦情解決に関する取組みの充実

本会が提供する福祉サービスに係る利用者等からの申し入れに対して、早期の的確な対応に努めました。

苦情等の問題発生に備え、第三者委員の設置をするほか、管理・監督者向けにクレーム対応研修の実施やヒヤリハット等の取組みを行いました。

エ コンプライアンス(法令順守)のもと適切な組織統治(ガバナンス)と事業経営の透明化

社会福祉法人としての社会的ルールやモラルを遵守した経営に努めるために法人内監査及び行政監査に対応しました。

また、公正かつ透明性の高い適正な経営を実効性あるものとするために本会ホームページを活用し、事業計画・報告、予算・決算等の情報を積極的に情報開示しました。

法人内監査の実施及び社会福祉法人指導監査の対応

- ・ 法人内監査 5月13日(水) 午後1時00分～
- ・ 指導監査 11月19日(木) 午前9時30分～

オ 職員育成の充実

職員の資質向上を目的に、法人内研修を実施しました。また、他機関が実施する外部研修にも計画的に職員を派遣しました。

(ア) 管理・監督者合同研修(eラーニング形式で実施)

10月1日から12月1日

所属長:「マネジメントとリーダーシップの基本」 8人受講

補佐・係長:「部下の育て方と人事評価」 21人受講

(イ) 実習生の受入れ

社会福祉の専門家(社会福祉士・介護福祉士)や看護師等をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。

(2) 財政基盤の強化

ア 住民会員、会費制度の充実

関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動のPRに努め、賛助会員への理解

を求めるとともに、会員の増員を図りました。

一般会員数（世帯数）49,159 世帯、特別会員 2 件、賛助会員 339 件、施設会員 81 件

イ 積立金・基金の拡大及び運用

社協独自の自主財源を確保することを目的に、積立金・基金の確保や資金運用に努めました。

ウ 効果的な資金運用

資産運用について研究を深め、公益性のある法人として、ボランティア活動振興基金等の運用益を事業に運用しました。

エ 共同募金・歳末助け合い運動の推進

共同募金会大垣市支会として、関係機関と連携し、共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進を図りました。

「戸別募金」「法人募金」「学校・職域募金」「街頭募金」やバッジ・図書カード・クオカードによる募金等を実施しました。

募金活動の計画的実施、募金の拡大を図ることを目的に、共同募金会大垣市支会理事会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R02. 05. 22 (決議の省略)	1. 令和元年度 事業報告及び決算について
R03. 03. 17	1. 令和 3 年度 事業計画及び予算について

(3) 指定管理施設の運営管理の充実

第 4 期（令和元年度～令和 5 年度）を迎えた指定管理者として、総合福祉会館、かわなみ作業所、老人福祉センター（大垣、上石津、墨俣）、デイサービスセンター（上石津、墨俣）の適正な管理・運営を図り、施設機能の住民理解をさらに深め、利用者ニーズの充足を第一としてサービスの提供を行いました。

（※かわなみ作業所は特定指定として平成 26 年度から 10 年間の管理）

(4) 広報活動の強化

ア 大垣市社会福祉大会

新型コロナウイルス感染防止のため、式典および講演会は中止。表彰状及び感謝状の郵送と、広報への掲載を行いました。

と き 8 月 22 日（土）

・表彰及び感謝状 17 団体 90 個人

（会長表彰：90 個人・1 団体、会長感謝状：16 団体）

・福祉標語の表彰 8 作品入賞

(応募総数：2,471 作品)

一般の部： 37 作品 (内入選 3 作品)

小学生の部：1,828 作品 (内入選 2 作品)

中学生の部： 606 作品 (内入選 2 作品)

イ 社協だよりの発行

社協事業について 1 人でも多くの市民に理解していただくため、市内全戸配布による「社協だより」を発行しました。社協会費(4/15)、共同募金依頼(9/15)のため、法人社等にも配布しました。

また、本年度より有料広告を掲載し、財源確保・広報活動の充実に努めました。

<年 6 回、4, 6, 7, 9, 12, 1 月 15 日発行> 発行部数 約 57,000 部

社協だよりアンケートモニターを募集し、5 名から延 32 回の回答をいただきました。

【掲載記事】

<4 月 15 日号 (第 265 号) >

・令和 2 年度事業計画、予算、ふれあいのまちづくり推進大会開催案内 ほか

<6 月 15 日号 (第 266 号) >

・令和元年度事業報告・決算、医療従事者へメッセージ ほか

<7 月 15 日号 (第 267 号) >

・令和 2 年度大垣市社会福祉功労者表彰、コロナとともに新しい地域福祉活動 ほか

<9 月 15 日号 (第 268 号) >

・赤い羽根共同募金運動、YELL FOR ALL むすぶプロジェクト、有料広告募集 ほか

<12 月 15 日号 (第 269 号) >

・歳末たすけあい運動、地域活動プチ情報「今活」 ほか

<1 月 15 日号 (第 270 号) >

・会長新年のあいさつ、高校生歳末メッセージ、歳末たすけあい募金報告 ほか

<随時掲載>

・寄付、災害義援金お礼、収集ボランティア募集、お礼、社協窓口のご案内 ほか

ウ ホームページによる広報活動

ホームページをリニューアルし、市民に対してタイムリーな福祉情報の提供をめざしました。

さらに、社協 NOW (ブログ) を活用して、市社協行事や地区社協活動等、さまざまな地域福祉活動を掲載しました。

また、本年度より有料広告を掲載し、財源確保・広報活動の充実に努めました。

・アクセス総件数：103,732 件(昨年度：63,521 件)

《ホームページ月別アクセス総件数》 単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6,157	6,306	6,366	5,421	10,095	9,341
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8,724	8,963	9,240	10,462	9,750	12,907

エ 社協情報誌の発行

「社協のあらまし・地区社協活動のてびき（概要版）」の作成
 自治会長・民生児童委員・福祉推進委員（地区代表・副代表）等に配布しました。（約800部）

オ 声の広報の実施

「音訳奉仕グループつばくろ」の協力を得て、社協だより（年6回）、市広報（年23回）、市民カレンダー（年12回）、議会だより（年4回）、身障会報（年4回）、障害者生活支援センター通信（年1回）、その他必要に応じて録音サービスを実施し、CD25枚（予備2枚含む）を製作して視覚障がい者へ届けました。

カ 点訳による広報の実施

「大垣点訳グループ愛盲会」の協力を得て、社協だより（年6回）、市広報（年23回）、市民カレンダー（年12回）、議会だより（年4回）、身障会報（年4回）、障害者生活支援センター通信（年1回）、その他必要に応じて点訳サービスを実施し、15部視覚障がい者へ届けました。

（5） 介護・障がい福祉サービス事業

ア 居宅介護支援事業

ケアマネジャー（介護支援専門員）が要介護認定を受けた方を対象に、本人やご家族の希望を取り入れ、利用者のニーズを意識した介護サービス計画を作成しました。また、介護サービスがスムーズに実施されるよう、サービス実施機関等との連絡調整を行いました。

① 大垣居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》 単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
93	91	89	91	89	90	82	82	81	79	78	82	1,027

《計画作成件数(要介護)》 単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
230	226	234	233	234	227	228	232	228	226	224	216	2,738

② 上石津居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29	28	32	31	30	30	30	32	31	31	32	32	368

《計画作成件数(要介護)》

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
114	118	106	109	115	118	110	108	109	105	106	106	1,324

イ 特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者（児）の、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し「サービス等利用計画」の作成、見直し等を行いました。

《計画作成件数(障がい者)》

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
39	22	23	22	24	32	18	27	21	26	22	27	303

《計画作成件数(障がい児)》

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	1	2	2	2	4	1	2	2	1	2	25

ウ 訪問介護事業

利用者が安心して安全に在宅生活を継続できるよう、介護保険及び障害者総合支援法による良質なサービスの提供を図るとともに、様々な利用者ニーズに対応するため、サービス提供責任者による定期訪問や管理者を中心とした問題解決を行いました。平成31年4月1日より上石津ヘルパー室はサテライト化し、大垣ホームヘルパー室と統合しました。

① ホームヘルパー室

《利用者数(総合事業)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
110	106	105	108	100	102	103	102	106	100	94	93	1,229

《利用者数(要介護)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
97	88	92	89	94	89	93	97	99	96	102	92	1,128

《延利用回数(要介護のみ)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,216	1,135	1,131	1,211	1,180	1,154	1,276	1,171	1,240	1,195	1,189	1,210	14,308

② ホームヘルパー室(障がい)

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
66	62	63	64	63	64	62	64	62	62	62	66	760

《延利用回数》

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
782	746	758	797	743	732	789	715	753	705	690	775	8,985

エ 訪問看護事業

訪問看護ステーション

小児から高齢者まで、病気やケガにより在宅での療養が必要な人に対し、住み慣れた家庭や地域社会で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと褥瘡や各種経管の管理、介護相談等 24 時間緊急体制で看護サービスを提供しました。

《利用者数(介護保険)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
92	90	87	92	91	85	94	93	91	99	93	88	1,095

《利用者数(医療)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
54	50	51	47	51	49	53	53	50	51	51	53	613

《延利用回数》

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,109	935	1,146	1,133	1,048	987	1,120	1,010	1,054	1,021	1,021	1,194	12,778

オ 通所介護事業

通常自宅で行われている入浴や食事の支援や、機能訓練、余暇活動、バイタルチェック等の専門的な支援を行い、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持と家族の介護支援を図りました。

① 上石津デイサービスセンター

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
76	70	70	70	70	76	75	74	73	70	71	72	867

《稼働率》

単位：%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
80.64	67.56	82.05	81.48	78.46	82.44	81.48	78.93	76.67	75.83	75.14	75.00	77.97

② 墨俣デイサービスセンター

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
49	50	55	51	50	54	56	54	56	49	53	55	632

《稼働率》

単位：%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
67.54	68.15	75.54	69.78	68.62	76.00	74.81	71.84	72.77	72.83	74.33	80.59	72.73

③ 福祉の館 デイサービス青野

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	16	17	16	14	14	14	13	12	12	12	12	169

《稼働率》

単位：%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
66.92	51.54	66.92	68.15	60.38	62.69	63.33	61.60	56.54	56.25	57.08	57.41	60.74

キ 生活介護事業及び就労継続B型事業

かわなみ作業所運営事業（指定管理施設）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として、生活介護事業及び就労継続支援B型事業の指定を受け、障がい者に生産活動等の機会を提供しました。

(ア) 生活介護事業（本所：65名）【定員：65名】

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所により生産活動の機会の提供、創作的活動、排泄及び食事の介護、その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的として施設を運営しました。

(イ) 就労継続支援B型事業（本所：35名）【定員：35名】

通所により就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者には、一般就労への移行に向け支援することを目的とし施設を運営しました。

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
96	76	95	96	93	95	95	94	95	92	90	92	1,109

《延利用回数》

単位：%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,480	1,137	1,780	1,704	1,558	1,617	1,923	1,661	1,585	1,584	1,429	1,914	19,372

ク 共同生活援助事業

かわなみホーム事業

通所施設等を利用する障がいのある方に、住居を提供し日常生活に必要な介護及び支援を行うことにより、地域生活における入居者の自立と社会参加を促進することを目的とし、かわなみ作業所と連携を図りながら入居者の支援を行いました。

① 入居定員 19名（入居者18名・体験利用者1名）

《利用者数(入居)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	11	17	18	17	17	17	17	17	17	17	18	201

《利用者数(体験)》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	2	5	9	9	12	10	11	6	7	11	83

《延利用回数(入居)》

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
330	254	389	404	354	367	396	358	371	362	340	406	4,331

《延利用回数(体験)》

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	12	19	20	20	26	22	27	12	15	27	202

ケ 短期入所事業

かわなみホーム短期入所事業

日ごろ支援をされているご家族が病気等の理由により支援が難しいなどの場合に、短期間での入所をしていただけるよう、ホーム内に2部屋専用の部屋を設けて、運営を行いました。（入居定員 2名）

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	2	9	9	8	10	11	8	4	5	5	75

《延利用回数》

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	16	17	31	34	29	34	34	31	22	26	38	337

コ 老人福祉センター運営事業（指定管理施設）

健康増進・入浴・教養の向上及びレクリエーション、各種相談の場として、高齢者のための便宜を総合的に供与することを目的に運営しました。

① 大垣市老人福祉センター

開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数
246日	1,601人	4,880人	2,051人	2,733人

② 大垣市上石津老人福祉センター

開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数
205日	4,741人	2,734人	956人	255人

③ 大垣市墨俣老人福祉センター

開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数
205日	1,436人	913人	686人	2,209人

サ 総合福祉会館運営事業（指定管理施設）

市民の福祉活動の拠点とし、市民の福祉向上に寄与することを目的に運営しました。

《利用件数等》

会館日数	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
273日	96件	857件	15件	4件

《利用者数》

ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
3,257人	8,262人	100人	35人

シ 福祉バス運営事業

福祉団体等の社会参加活動を目的に運営しました。

《利用件数》

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	1	1	3	2	3	0	0	0	0	10

《利用者数》

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	10	5	21	17	26	0	0	0	0	79

主な利用団体：身体障害者福祉協会大垣支部、ふるさと大垣案内の会、大垣市社会福祉事業団、精神障害者家族会いぶき会、等

2 地域部会

(1) 地域福祉活動計画の事業推進

ア 地域福祉活動計画の推進及び評価

策定した第4次地域福祉活動計画（期間：令和元年度～令和5年度 5ヶ年）を推進し、実施事業の評価を行いました。

(2) 地区社協活動の強化（地区社協メニュー事業の実施）

ア 地域住民福祉活動の推進を支援

地区担当職員が地域活動への相談支援を行いました。

地区担当職員相談支援数（地区社協事業、見守り、サロン、食事サービス、研修会等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	131	107	162	152	108	150	153	181	155	124	176	171	1,770

(ア) 地区社協を強化する事業の推進（部会、委員会の開催、地区社協福祉大会等）

市内全地区で地域諸団体が役割分担をもち、各部会（委員会）を設置し、相互の調整を通して組織的な運営を行い、広く地域住民への理解を得るための地区社協活動の支援を図りました。

a 各地区社協総会（評議員会）日程（20地区） ※印：書面等による実施

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	※5月	江東	※4月3日
東	※3月	川並	※5月
西	※5月	中川	※3月28日
南	※5月16日	和合	※4月25日
北	※10月	三城	※4月25日
日新	4月4日	荒崎	※4月18日
安井	※5月	赤坂	※5月11日
宇留生	※4月	青墓	※4月25日
静里	※4月17日	上石津	※5月27日
綾里	※4月13日	墨俣	※3月15日

b 地区社協福祉大会の開催（16地区）

地区功労者の表彰、体験発表、講演などを各地区にて行いました。

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	9月25日	川並	※11月
西	※2月28日	中川	※9月6日
南	※11月8日	和合	※9月21日
北	※	三城	※10月24日
日新	※11月15日	荒崎	※10月17日 18日
安井	※10月25日	赤坂	※11月8日 15日
宇留生	※11月8日	青墓	※10月18日
綾里	※8月1日	上石津	※11月1日

(イ) 福祉の心を育てる事業の推進（地区社協だよりの発行、福祉推進委員研修会等）

地域住民等へ福祉に対する理解を深め、福祉のまちづくりにつながる事業を支援しました。

- a 地区社協だよりの発行
地区社協活動を地域住民に周知することを目的に実施されました。
- b 子どもの意見を聞く会（静里：1月16日（土）中止、西：2月28日（日）中止）
- (ウ) 福祉の輪を広げる事業の推進（歳末友愛訪問、三世代交流事業等）
地域住民全体のふれあい交流活動を通して、福祉の輪を広げる事業へ支援しました。
 - a 歳末友愛訪問事業（全地区）
市内全地区社協でひとり暮らし高齢者、寝たきりの方等へ、まごころのこもった贈り物を持って歳末友愛訪問が実施されました。（対象者：2,636人）
 - b 三世代交流事業〈中止〉
 - c 三世代意見交換会〈中止〉
 - d 住民運動会〈中止〉
 - e 青少年の健全育成
6月6日（土）中川地区〈中止〉
- (エ) 「地区社協推進活動に対する助成要綱」に基づく事業への支援
助成要綱に基づき、地区社協事業への支援を行いました。

一般会費からの助成事業		共同募金、歳末募金からの助成事業	
助成事業名	助成金額	助成事業名	助成金額
事業活動補助金	11,060,840円	歳末友愛訪問事業	1,977,000円
福祉推進委員研修会	33,500円	高齢者を囲む会 ※	338,593円
地域防災力向上推進事業	600,000円	ふれあいいきいきサロン	2,350,000円

※高齢者を囲む会助成は臨時助成を含む

- イ 地区社協のてびき等の作成
地区社協活動の周知・活性化のため「みんなでいいまちつくろうよ 社協活動のあらまし」の内容充実を図り500部を発行し、地区社協会長、民生児童委員、福祉推進委員（代表）他に配布しました。

(3) 地区社協との連絡調整

- ア 地区社協連絡会の開催
各地区代表者との連絡調整を行いました。
第1回：6月1日（月） 書面開催
第2回：9月1日（火） 書面開催
第3回：2月1日（月） 書面開催
- イ 地区社協活動計画の評価と進捗状況の把握
20地区社協で作成された地区社協活動計画に基づき、各地区で展開されている事業の進捗状況を把握し、確認や評価を行いました。
- ウ 調査・研究事業
地域で暮らす多様な人々が、団体の地域活動や支え合い活動へ積極的に参加できるよう地域活動に対する意識調査・研究について検討しました。（あんしん見守りネットワーク活動状況報告・緊急連絡のてびき・生活支援活動等）

(4) 重層的な地域支えあいネットワーク活動（「見守りネット&ネット」）の推進

- ア ふれあい・いきいきサロンの設置・運営

(ア) 20 地区社協主催「ふれあい・いきいきサロン」の設置、運営の推進

高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場所をつくることを目的に 20 地区社協を基盤として、各自治会にて登録されました。(助成対象サロン数：235 ヶ所)

地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数	地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数
興文	54	10	10	江東	21	16	15
東	28	8	8	川並	10	10	9
西	29	19	15	中川	19	18	18
南	28	11	8	和合	8	7	7
北	55	32	19	三城	37	14	4
日新	17	16	16	荒崎	13	12	9
安井	22	9	9	赤坂	22	22	17
宇留生	26	26	5	青墓	13	13	13
静里	14	13	13	上石津	40	28	25
綾里	15	12	5	墨俣	22	22	10
				合計	493	318	235

(イ) 地区別サロン活動推進研修会の開催（全地区）

地区社協ごとにサロン研修会、交流会の開催を支援しました。

(研修、交流内容：各いきいきサロンの活動報告、貸出備品体験、情報交換等)

サロン研修、交流会開催日程一覧

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日には年度当初開催予定日）

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	※	江東	※
東	※	川並	※
西	※	中川	※10月3日
南	※	和合	※
北	※	三城	※2月
日新	※	荒崎	10月22日 代表者のみ
安井	※	赤坂	※7月
宇留生	※	青墓	※11月
静里	10月21日	上石津	※
綾里	※	墨俣	※12月

イ 福祉推進委員活動の支援（福祉推進委員研修会に対する支援）

(ア) ふれあいのまちづくり推進大会の開催

と き：令和2年6月14日（日）〈中止〉

と ころ：大垣市民会館

※ふれあいのまちづくり事業の一環として、小地域における住民参加型による地域福祉活動を行うため、福祉推進委員を各自治会単位に設置しました。493自治会から、895人を設置。自治会内50世帯に1人の設置を推進しました。

地区別福祉推進委員数(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

地区名	自治会数	推進委員数	地区名	自治会数	推進委員数
興文	54	64	江東	21	42
東	28	39	川並	10	23
西	29	65	中川	19	71

南	28	38	和合	8	24
北	55	96	三城	37	50
日新	17	30	荒崎	13	23
安井	22	34	赤坂	22	50
宇留生	26	52	青墓	13	40
静里	14	44	上石津	40	51
綾里	15	27	墨俣	22	32
			合計	493	895

(イ) 福祉推進委員連絡会及び役員会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

a 福祉推進委員連絡会

第1回：6月3日（水） 書面開催

第2回：11月9日（月） 各地区1名のみでの出席として、情報共有・研修を開催

第3回：3月9日（火） 各地区1名のみでの出席として、情報共有・研修を開催

b 福祉推進委員連絡会の部会開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、役員会を開催し部会の開催を見合わせました。

役員会：10月5日（月）

(ウ) 各地区福祉推進委員研修会の支援

市内全地区で福祉推進委員制度と福祉推進委員の役割、生活支援活動、あんしん見守りネットワーク事業などについて、地区ごとに自治会長、民生児童委員、福祉推進委員などが集り、研修会の開催を支援しました。

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地区名	開催日	地区名	開催日	地区名	開催日
興文	※	宇留生	※	三城	1月16日
東	※	静里	10月21日		1月19日
西	※5月13日		綾里	3月16日	荒崎
	※11月28日	7月18日			※2月
南	※7月16日	江東	※	赤坂	※6月
北	※2月28日、3月7日、3月14日		※		※2月
	日新	※9月26日	川並	※5月	青墓
※2月13日		中川	※2月		※2月12日
安井	※6月28日		和合	※5月9日	上石津
	※2月21日	※10月			※2月
			※7月	墨俣	※4月
			※2月		※12月

(エ) 福祉推進委員向けの情報誌「ねっとわーく！」の作成（発行月：6・2月）

ウ 食事サービス・高齢者を囲む会の推進

(ア) 各地区食事サービス・高齢者を囲む会の推進

a 食事サービス事業

ボランティアによる手作り料理（弁当）を持参して、ひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、信頼感や安心感を得られるように、地域の絆づくりやふれあい・見守り活動の一環として実施されました。（各地区月1回～4回・昼食又は夕食）

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによる食事サービス事業実施が制約される中、見守り活動やつながりを絶やさないことを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：購入した食事等を配食）

対 象 高 齢 者：241人（延べ利用者数：通常 2,253人、臨時 930人）

ボランティア数：1,353人

実 施 地 区：19地区 20ヶ所

通常 9ヶ所、臨時 3ヶ所、休止 8ヶ所 ※3月末現在

b ひとり暮らし高齢者を囲む会

地区内のひとり暮らし高齢者と地域ボランティアが集り、会食・レクリエーションなどふれあいを通して、交流が行われました。

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによるひとり暮らし高齢者を囲む会実施が制約される中、見守り活動や孤立感の解消を図ることを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：訪問活動と慰問品の配布）

実施地区：全地区（1回～2回）

高齢者を囲む会通常実施 2地区 140人

臨時実施 10地区 1,029人

(イ) 食事サービスボランティア代表者会議及び研修会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見合わせ、西濃保健所から提供を受けた食品衛生関係に関する資料提供を行いました。

エ 緊急連絡のてびきの作成

ひとり暮らし高齢者等の緊急時（災害等）に備えて、「緊急連絡のてびき」を民生児童委員の協力を得て作成及び配付するとともに、緊急時の情報利用の効率化を図り、あんしん見守りネットワーク活動につなげるため、データ化を図りました。

緊急連絡のてびき作成数

地区名	てびき 対象者数	地区名	てびき 対象者数	地区名	てびき 対象者数	地区名	てびき 対象者数
興 文	214	日 新	121	江 東	176	荒 崎	144
東	215	安 井	215	川 並	48	赤 坂	228
西	366	宇留生	234	中 川	329	青 墓	161
南	282	静 里	220	和 合	100	上石津	170
北	521	綾 里	67	三 城	340	墨 俣	96
						合 計	4,247

オ あんしん見守りネットワーク事業の推進

自治会を単位として自治会長、民生児童委員、福祉推進委員が連携をとり、誰もが孤立することなく安心して生活できるよう、見守り対象者への声かけ等を実施し、見守り活動を推進しながら、あんしん見守りネットワークの構築を図りました。

あんしん見守りネットワーク状況報告

地区名	自治会数	見守り対象 者数	見守り会議 実施数	地区名	自治会数	見守り対象 者数	見守り会議 実施数
興 文	54	243	5	江 東	21	186	3

東	28	347	8	川 並	10	51	2
西	29	278	9	中 川	19	277	14
南	28	238	3	和 合	8	112	0
北	55	371	12	三 城	37	307	10
日 新	17	112	2	荒 崎	13	176	4
安 井	22	189	3	赤 坂	22	268	7
宇留生	26	319	18	青 墓	13	154	6
静 里	14	229	14	上石津	40	690	8
綾 里	15	99	2	墨 俣	22	138	22
				合 計	493	4,784	152

カ 地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議（自治会単位）の開催

地域で支援を必要とする方が、地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して継続した生活を営むことができるような体制整備（地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議の開催）を推進しました。

各地区地域支援ネットワーク委員会日程一覧

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
興文	※	江東	※	赤坂	※6月
東	7月17日	中川	※6月	青墓	※2月
	11月20日		11月12日		10月7日
	3月20日		※3月11日		12月16日
安井	※	和合	※6月	上石津	2月2日
宇留生	2月7日		※3月		7月29日
静里	※5月・10月	三城	6月10日	墨俣	2月22日
	3月19日		※11月		※11月
綾里	7月11日	荒崎	※6月		3月16日
	※		※1月		

キ 地域防災力向上推進事業

地区社協及び地区防災士会と連携した災害時要援護者避難訓練を含めた防災訓練を各自治会単位で実施し、要援護者の把握と支援方法等の推進を図りました。

ク 見守り関係事業所との協定事業

市内の見守り関係事業所（新聞販売店、郵便局、金融機関、宅配業者等）66事業所と継続して見守り活動について連携を行い、見守り活動の強化と推進を図りました。

今年度は新たに3事業所と協定を締結しました。（合計68事業所）

（ア）新規事業者

- ①株式会社 メモリアホールディングス ②株式会社 石山商店
③株式会社 大垣ケーブルテレビ

（イ）見守り関係事業所から気になる方や心配な方等の情報提供により、早期発見・早期対応を行い、見守り支援者や関係機関と連携し支援しました。

（相談件数9件…新聞販売店・配食業者）

また、関わったケースに関して、見守り関係事業所へ情報提供をメール配信しました。

(メール配信登録事業所のみ)

- (ウ) 大垣警察署と見守り対象者を子どもに広げたK(子ども・高齢者)M(見守り)K(声かけ)協定の推進を行いました。
- (エ) 見守りに関する情報共有を目的に見守り関係事業所連絡会を開催しました。
実施日:2月19日 書面開催
内 容:大垣警察署・大垣市・市社協からの情報提供

ケ 福祉学習モデル事業

県社協の助成事業として実施する「福祉学習モデル事業」については令和2年度未実施でした。

コ 生活支援事業

(ア) 買い物支援

高齢者の生活課題(買い物支援)の解決のため、地域で調査を進めると共に綾里、上石津にて実施しました。

(綾里地区) 4月~3月

実施自治会数:1自治会

利用登録者数:12人

支援実績:運行回数…24回、延べ利用人数…179人

(上石津地区) 4月~3月

実施自治会数:4自治会

利用登録者数:19人

支援実績:運行回数…38回、延べ利用人数…151人

サ 地区防災士会の支援

大垣市地区防災士連絡会を開催し、各地区代表者との連絡調整を図りました。

第1回:6月 書面開催

第2回:2月 書面開催

シ 生活支援活動拠点整備事業

(ア) お散歩カフェ

相談支援及び介護予防の拠点を、「お散歩カフェ」の名称で整備し、住民が気軽に集まる場を提供しました。(3地区)

a 「うるおい」(宇留生地区) 毎月第3土曜日 宇留生地区センター修明館〈中止〉

b 「あやの」(綾里地区) 毎週水曜日 綾野公民館・綾里地区センター

開催日:32日 延べ利用者数:542人

c 「オレンジ」(三城地区) 毎週火曜日 在宅福祉サービスステーション〈中止〉

(イ) お散歩カフェ わがまる地域勉強会(寄ってこ知ってこ)〈中止〉

ス むすぶプロジェクト(臨時事業)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け地域福祉活動が縮小するなか、「YELL FOR ALL~みんなにエールを!~」を合言葉に「人と人とをむすぶ」活動を実施。多くの方に協力を頂きました。

(ア) マスクプロジェクト

マスクや消毒液等の物資を募集し、施設・医療関係機関や食事サービスボランティアなど必要とする方に提供をしました。

マスク・消毒液等の寄付件数 225件 13,986点

手づくりマスクボランティア数 48人 1,954枚

手作りマスクの一部は「マスクの宅配便事業」として、食事サービスボランティアや希望するひとり暮らし高齢者の方93人（延べ279枚）に配布しました。

(イ) フードバンクプロジェクト

地域の方から缶詰やカップ麺、レトルト食品など1,856点の食料品のご協力を受けました。生活に困りごとを抱える相談者や市内に住む学生などへ食料品の提供をしました。

3 事業運営部会

(1) 相談・支援体制の強化（総合相談窓口体制）

ア 地域包括支援センター事業

地域の高齢者の心身の健康保持と生活の安定のために必要な相談・援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に継続して支援しました。さらに、地域の関係機関等とのネットワークを構築し、地域住民の様々なニーズに応えることができるよう地域拠点としての機能充実を図りました。社会福祉士、保健師等、主任介護支援専門員の3職種が配置されています。

【組織】

エリア名	地区名	設置場所	実施機関
中央地区	興文・東・西・南	総合福祉会館	大垣市 社会福祉協議会
西地区	南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎		
東・墨俣地区	和合・三城・墨俣	在宅福祉サービスステーション	社会福祉協議会
上石津地区	上石津	上石津老人福祉センター	
北地区	北・中川	中川ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団
東南地区	安井・川並・洲本・浅草	市役所 高齢福祉課	市役所直営
北西地区	青墓・赤坂中・赤坂東・宇留生	お勝山ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団

(ア) 総合相談・支援業務の実施

a 総合相談の実施

地域住民からの様々な相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し対応しました。（相談内容：介護保険、認知症、福祉サービス、医療・保健、家族関係など）

【総合相談件数：延べ4,626件】

担当エリア	相談件数
中央地区	1,441
西地区	1,104
東・墨俣地区	1,419
上石津地区	662
合計	4,626

b 地域ケア個別会議の開催

個別ケースの課題（認知症、家族関係、虐待など）について他機関・他職種で検討しました。

【開催件数：61件】

担当エリア	開催件数
中央地区	34
西地区	10

東・墨俣地区	14
上石津地区	3
合計	61

c 地域住民向けの広報誌の発行

「地域包括支援センターだより」の発行

定期の発行（4月・6月・8月・10月・12月・2月）

※年金支給月に合わせ偶数月の発行

配布先・・・民協・地区センター・医師会・薬剤師会・歯科医師会、保健センター

老人福祉センター、大垣共立銀行（本店・18支店）大垣西濃信用金庫（本店

18支店）、西美濃農業協同組合（本店・20支店）、十六銀行（6支店）、各地区

のいきいきサロン、地域支援ネットワーク委員会、班回覧など

(イ) 高齢者等の虐待防止・早期発見・権利擁護事業の実施

a 高齢者虐待・消費者被害への対応

高齢者虐待、消費者被害の相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し、必要に応じて他機関との連携を行いました。

【相談対応件数：延べ159件】

担当エリア	高齢者虐待	成年後見	消費者被害	合計
中央地区	57	23	3	83
西地区	20	3	1	24
東・墨俣地区	31	15	1	47
上石津地区	0	5	0	5
合計	108	46	5	159

b 地域の民協やサロンに出向き、高齢者虐待、消費者被害を予防する情報発信を行いました。（※地域密着型運営推進会議は書面開催）

【地域活動参加件数：218件】

地域活動	民協定例会議	地域密着型運営推進会議 ※	地域支援ネットワーク委員会・地区社協三者研修	出前講座（サロン老人会）	その他（見守り会議等）	合計
中央地区	31	0	2	2	1	36
西地区	31	2	4	5	1	43
東・墨俣地区	23	0	1	1	2	27
上石津地区	17	0	13	36	46	112
合計	102	2	20	44	50	218

c 大垣市高齢者権利擁護研修会開催

大垣市・介護サービス事業者連絡会共催にて実施：(ウ) dに掲載

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施

a ケアマネジャーからの個別相談（介護保険、認知症、福祉サービス、生活困窮、家族関係、医療・保健など）を受けて指導・助言を行いました。

【ケアマネジャー相談件数：延べ1,032件】

担当エリア	相談件数
中央地区	353
西地区	198
東・墨俣地区	376
上石津地区	105
合計	1,032

b 大垣市ケアプラン点検協働事業〈中止〉

c 大垣市主任ケアマネジャーの会

目的 地域のケアマネジメントリーダーとして共に自立支援型ケアマネジメントの推進。包括的・継続的ケアマネジメント体制づくりのための連携。個々の関わりの中から地域の課題を把握し、課題の改善に向けた取り組みの提案。

対象者 45事業所 主任ケアマネジャー 75人

第1回 8月25日(火) 場所：大垣市情報工房 5F スイंकホール

内容 「医療系サービスとの連携について」 参加者 41人

第2回 10月28日(水) 場所：大垣市総合福祉会館 5階ホール

内容 「大垣の主任CMで考えよう人生会議(ACP)」参加者 45人

第3回 12月16日(水) 場所：大垣市情報工房 2F 多目的研修室〈中止〉

内容 「スーパービジョン演習～実践してみよう！」

d 大垣市介護サービス事業者連絡会との連携

事務局として会務の運営を担いました。

(a) 役員会 4月15日(水)、6月17日(水)、8月19日(水)、10月21日(水)
12月16日(水)、2月17日(水)

(b) 定例会(研修会)

第1回 7月15日(水) 場所：大垣市総合福祉会館 5階ホール

内容 退院支援・病院との連携について

① 西濃医療圏退院支援ルール

② 退院支援の流れ

講師 大垣市民病院 よろず相談・地域連携課 栗田 直美 氏

参加者 134人

第2回 9月16日(水) 場所：大垣市情報工房 5F セミナー室

内容 「新型コロナウイルス感染症について

～介護事業所としての対策等～

講師 大垣市民病院 感染対策室 部長 高橋 崇真 氏

参加者 34人(会場参加)、59事業所(オンライン参加)

第3回 11月18日(水) 場所：大垣市情報工房 5F スイंकホール

内容 高齢者権利擁護研修会

①大垣市高齢者虐待の現状について

②「アンガーマネジメントでイライラよりイキイキを！～高齢者虐待防止・支援に活かすポイント～」

講師 日本アンガーマネジメント協会ファシリテーター 澤田 慎一郎 氏

参加者 112人

第4回 定例会（部会）：オンライン開催

内容 ・ケアマネ部会 1月20日(水)

「これまでの実施指導とこれからの実施指導について」 23事業所

・居宅サービス部会 1月27日(水)

「コロナウィルス感染予防の研修会及び意見交換」 30事業所

・施設部会 1月20日(水)

「施設のコロナ感染症予防対策 意見交換会」 8事業所

第5回 3月23日(火) 場所：大垣市情報工房 5F スイックホール

内容 介護保険制度改正等について

講師 大垣市 介護保険課

参加者 会場 83人 オンライン Zoom 92事業所

e 認知症サポーター養成講座の実施：2件

10月13日(火) 23人 シルバー人材センター

10月22日(木) 40人 大垣桜高校

(エ) 介護予防ケアマネジメント事業（第1号介護予防支援事業）の実施

基本チェックリスト該当者、要支援と認定された方を対象に訪問型サービス、通所型サービス等必要な援助を行いました。

(オ) 指定介護予防支援事業の実施

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう指定介護予防支援を行いました。

【介護予防ケアマネジメント事業・指定介護支援事業給付管理数：10,247件】

区分	直営	委託	合計(新規)
介護予防マネジメント	674	1,953	2,627(69)
基本チェックリスト該当者	238	347	585(46)
短期C該当者	4	0	4(4)
介護予防支援	1,582	5,449	7,031(148)
合計	2,498	7,749	10,247(267)

イ 認知症初期集中支援推進事業

介護保険法に基づき、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築しました。

40歳以上で、在宅で生活している認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療・介護サービスを受けていない人、受けている人で対応に苦慮している人に対して、訪問し心理的サポートや助言、医療・介護サービス導入支援、生活改善等の支援を行いました。

(ア) 相談・対応

新規相談：68件 継続：228件

新規チーム対応：22件 チーム対応継続：461件 終了・モニタリング：176件

(イ) チーム員会議

開催頻度：毎月1回（第2月曜日）

メンバー：認知症サポート医、認知症地域支援推進員、アドバイザー（認知症看護認定看護師）
オブザーバー（認知症疾患医療センター）、地域包括支援センター

検討ケース：新規 19件 継続：38件 終了：63件

(ウ) 認知症普及啓発

- ・笑話歯動場 11か所（204人）
- ・認知症サポーター養成講座開催 2か所（27人） シルバー人材センター・社会福祉士実習生
- ・認知症勉強会等 2か所（43人） お散歩カフェあやの・中川地区支え合いの会代表者会
- ・地域包括全体会議、拡大エリア会議参加
- ・お散歩カフェ参加 あやの
- ・認知症家族の会参加 毎月第一木曜日
- ・ぼーれぼーれ参加

ウ 在宅介護支援センター事業

要援護高齢者及びその家族からの相談に対応し、また地域支援事業における介護予防事業を実施し、在宅で生活する一般高齢者及び要援護状態になる恐れのある高齢者の状態の維持・回復の支援に努め、介護予防教室(はじめの一步)を開催しました。

【参加者数:延べ373人】

開催場所/開催回数	参加人数
大垣市老人福祉センター(午前)/月1回	145
大垣市総合福祉会館(午後)/月1回	97
上石津老人福祉センター/月1回	55
墨俣老人福祉センター/月1回	76
合計	373

内容：適切な運動、運動と血圧、からだのしくみ、筋力を高める方法、柔軟性を高める方法
転倒のしくみ、バランスの良い体づくり、骨粗鬆症とは、ストレスと免疫、正しい姿勢
講師：(有)アスプランニング スタジオヂーニース

エ 障がい者生活支援センター事業

専門相談員を1人配置し、在宅で生活している障がい者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、介護相談及び情報の提供などを総合的に行いました。

(ア) 障がい者に関する総合的相談業務

(イ) ピアカウンセラーの配置（肢体 7人（手話1人）、視覚 1人、聴覚 1人）

【相談件数】1,243件（相談員802件、ピアカウンセラー441件）

【相談内容】 社会参加・余暇活動に関する支援、福祉サービス利用等に関する支援、不安の解消・情緒に関する支援、生活技術に関する支援、健康・医療に関する支援、就労に関する支援、家族関係・人間関係に関する支援、家計・経済に関する支援、保育・教育に関する支援、障害や症状の理解に関する支援、権利擁護に関する支援

オ 障がい者就労支援センター事業

専門相談員1人を配置し、障がい者の社会参加と自立を促進させるため、「大垣市障がい者就労支援センター」において相談、職場や自宅への訪問等、障がい者の就労にかかる支援を行いました。

(ア) 相談支援

新規相談件数 61件 (身体：10件、知的7件、精神26件、発達：3件、
高次脳機能：1件、その他：14件)

継続相談件数 377件

支援延べ件数 1,826件

(イ) 就労支援

一般就労者数：0人

福祉的就労者数：16人

サービス種別	性別	身体障害	知的障害	精神障害	計
就労移行支援	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
就労継続支援A型	男	0	1	2	3
	女	1	1	0	2
就労継続支援B型	男	0	3	4	7
	女	1	0	3	4
計		2	5	9	16

(ウ) 「福祉就労まるっと相談フェア」〈中止〉

カ 西濃地区福祉サービス利用支援センター事業

専門員2人を配置し、生活支援員や様々な関係機関と連携し、判断能力が不十分な方に対して福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行いました。

利用者数：63人 生活支援員数：5人

【相談対応件数】

	初回相談件数 (事業について)	初回面談 件数	新規契約 件数	解約 件数	相談援助 延件数
認知症高齢者	5	9	2	10	65
知的障害者等	0	4	0	2	56
精神障害者等	2	7	4	1	620
不明・その他	2	6	0	0	0

合 計	9	26	6	13	741
-----	---	----	---	----	-----

キ 西濃地域成年後見支援センター事業

(ア) 西濃地域成年後見支援センター運営委員会〈書面開催〉

(イ) 相談支援等

西濃地域社協が連携し、高齢者や障がい者等で判断能力が不十分な方への成年後見制度利用に向けた相談・手続き、制度の理解を目的とし地域住民や福祉関係者への普及・啓発を行いました。

【 相談・対応件数 】 83 件 (延件数 107 件)

制度に関する問 合せ (概要等)	利用申立手続きに ついて	個別ケース会議 対応	その他 (一般相談等)
26	39	0	18

【 研修会対応件数 】 0 件

【 申立手続きに伴う個別対応件数 】 13 件

類型	区分	方法	後見人等	生活の場
後 見	認知症	市長申立	司法書士	施 設
保 佐	認知症	市長申立	社会福祉士	施 設
保 佐	認知症	本人申立	司法書士	在 宅
補 助	知的障がい	本人申立	弁護士	在 宅
後 見 (見込)	知的障がい	本人申立	司法書士 (候補)	在 宅
後 見 (見込)	脳梗塞後遺症	親族申立	書類作成中死亡	病 院
後 見	認知症	市長申立	法人後見	在 宅
後 見 (見込)	認知症	親族申立	—	施 設
後 見 (見込)	精神障がい	親族申立	—	病 院
後 見 (見込)	知的障がい	親族申立	親族 (候補)	在 宅
後 見 (見込)	精神障がい	親族申立	申立保留	在 宅
補 助 (見込)	認知症	市長申立	—	在 宅
後 見 (見込)	認知症	親族申立	法人後見 (候補)	施 設

ク 生活支援相談センター事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方に対して、専門的な知識、相談支援経験を有する主任相談支援員 1 人、相談支援員兼就労支援員 2 人を配置し、就労等の相談支援を行いました。

(ア) 相談実績

新規相談件数：840 件、プラン作成件数：55 件、就労支援対象者数：32 人

就労者数：12 人

(イ) 支援調整会議開催状況

支援対象者の支援の方向性を確認し、計画に基づいた支援ができるよう支援調整会議メン

バー（社会福祉課、ハローワーク、主任相談支援員、就労支援員兼相談支援員、市社協地域福祉課）で毎月1回、支援計画の確認や評価を実施しました。

開催頻度：月1回、プラン確認件数：52件、評価件数：50件

(ウ) 庁内連携会議

関係機関と連携し、円滑な相談支援を行うこと、センターの周知を目的に市役所庁内の関係課との連絡調整、情報交換などを行いました。

a 第1回 庁内連携会議 ⇒ 書面開催

第2回 庁内連携会議 ⇒ センターの活動状況報告及び市各課と連携に関する意見交換

b 地域共生会議への参加

日 時：5月22日（金）、10月21日（水）、12月8日（火）、2月18日（木）

場 所：市役所 会議室

内 容：地域共生合同会議、相談対応強化について

出席者：社会福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課、市社協、大垣市生活支援相談センター

c ひきこもり支援チームプロジェクト会議への参加

日 時：4月22日（水）、5月26日（火）、6月24日（水）、7月22日（水）、9月23日（水）、
10月28日（水）、11月24日（水）、12月23日（水）

1月27日（水）、2月24日（水）、3月24日（水）

場 所：市役所 会議室

内 容：ひきこもり支援に関する検討会

出席者：障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、社会福祉課、市社協、大垣市生活支援相談センター

(エ) 出張相談窓口の開設

保健センター、社会福祉課と連携し「生活困窮におけるこころの健康相談窓口」を開設しました。

日 時：12月10日（木）、17日（木）、21日（月）、3月5日（金）、10日（水）

9:00～11:00・14:00～16:00

場 所：大垣市総合福祉会館4階相談室

(オ) 啓発活動

生活困窮者自立支援事業の理解とセンターのPRのため、地域などで行われる各種会議等での事業の説明、センターの機能の周知を行いました。

日 時：3月実施

対 象：民生児童委員協議会

(カ) みんなで支え合いバンク（食料支援）の設置

既存の制度では対応できない相談について、地域ボランティアから提供いただいたインスタント食品等を活用し、食料支援として提供し、次の相談や支援に結びつけるため、簡易のフードバンクを実施しました。

新規利用者：60人、継続利用者：40人、総利用者：100人、支援回数：145回

ケ 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障がい者、高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症に対応した特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）を含む。

【県社会福祉協議会が実施する貸付事業の窓口相談及び申請業務実績】

	相談実件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	4 件	1 件	366,000 円
福祉資金	24 件	2 件	2,381,000 円
緊急小口資金	102 件	47 件	3,651,000 円
教育支援資金	12 件	2 件	526,000 円
不動産担保型資金	2 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	0 円
生活復興支援資金	0 件	0 件	0 円
特例貸付：総合支援資金	542 件	605 件	※248,384,300 円
特例貸付：緊急小口資金	1,458 件	1,255 件	235,470,000 円
合 計	2,144 件	1,915 件	490,778,300 円

※特例貸付総合支援資金延長を含む

(2) 障がい者福祉の増進

ア 社会参加促進事業

(ア) 講習会（点訳講習会、音訳講習会、手話奉仕員養成講座）

○各種講習会開催

点訳講習会、音訳講習会、手話奉仕員養成講座〈中止〉

(イ) 教室（グラウンドゴルフ、フライングディスク、車椅子ダンス等）

○各種スポーツ教室・大会

	開催場所	回数	人数
グラウンドゴルフ教室	総合体育館	19	332
グラウンドゴルフ大会	総合体育館	0	0
ボウリング大会	大垣コロナワールド	0	0
車いすダンス	総合福祉会館	2	11
フライングディスク教室	赤坂スポーツ公園	1	3

イ 意思疎通支援事業

障がい者のコミュニケーション支援を行い、社会参加の促進を図りました。

(ア) 手話通訳者等派遣事業の実施

派遣回数：173 回 延べ時間数：375.5 時間

(イ) 要約筆記者等派遣事業の実施

派遣回数： 0 回 延べ時間数： 0 時間

(3) 高齢者福祉の増進

ア 生活支援体制整備事業

介護保険法に基づき生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の充実を図りました。

(ア) 多職種・他団体との連携

情報発信及び顔の見える関係づくりのため、各包括エリアミーティングへ参加しました。

(実績：7回)

(イ) 地域で支え合う仕組みづくりを推進する会議・研修の開催（各地区）

地域支援ネットワーク委員会、三者合同研修会、支え合いの会例会、各部会等へ出向き情報発信及び顔の見える関係づくりに努めました。(実績：21回)

(ウ) 社会福祉法人連携協議会に関する取組み

市内の社会福祉法人 22 法人の加盟による協議会において、公益的な取組の推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社会資源としての役割を検討しました。

イ 料理教室

前期：5月29日(金)、6月19日(金)、7月15日(水)、8月28日(金)〈中止〉

後期：9月30日(水)、10月28日(水)、11月18日(水)、12月16日(水)〈中止〉

開催場所：大垣市総合福祉会館

ウ 大垣まつり特別観覧席招待事業

とき：5月9日(土)〈中止〉

(4) 移動支援事業（福祉有償運送事業）

要介護認定において要支援または要介護と認定された 60 歳以上の在宅の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、移送専用車両により指定の医療機関への送迎サービスを実施しました。

ア 外出支援サービス

【外出支援サービス利用状況（上石津地域高齢者対応）】

登録者数：58人 実利用者数：19人 利用回数：延べ134回 利用者数：延べ131人

イ 福祉有償運送事業

障がい者で、公共交通機関が利用できない方を対象に、送迎サービスを実施しました。

【福祉有償運送事業利用状況】

登録者数：48人 利用者数：延べ83人

利用回数：延べ260回（病院受診：107回、余暇活動：95回、施設通所：55回、公官庁：3回）

(5) 福祉団体等活動支援事業

ア 民生児童委員協議会の支援

民生児童委員協議会の活動（毎月役員会、定例民協・三部会研修等）に支援し、助成しました。

イ 保護司会の支援

保護司会活動（社会を明るくする運動等）に助成しました。

ウ かがやきクラブ大垣の支援

かがやきクラブ大垣主催の高齢者福祉大会が中止のため、助成しませんでした。

エ 身体障害者福祉協会大垣支部の支援

(ア) 身障敬老会事業

身体障害者福祉協会大垣支部が主催する敬老会が中止のため、助成しませんでした。

(イ) 身障歳末訪問事業

身体障害者福祉協会大垣支部が主催する歳末重度障がい者訪問活動に助成しました。

期 間：12月5日以降に実施 対象者：28人

オ 大垣市手をつなぐ親の会の支援

手をつなぐ親の会が主催する特別支援学級卒業生の激励訪問に助成しました。

カ 大垣市母子父子寡婦福祉連合会の支援

大垣市母子父子寡婦福祉連合会が主催する中卒者激励訪問に助成しました。

キ 介護者の会の支援

介護者の会の活動を支援（研修会・会議）しました。認知症高齢者等、要支援・要介護者を抱える家族組織の活動を支援しました。

と き：9月、10月、11月、1月、3月開催 会員数：18人

4 ボランティア部会

(1) 大垣市ボランティア市民活動支援センター運営事業

ア 大垣市ボランティア市民活動支援センター機能の充実

(ア) 相談・斡旋業務の充実

福祉団体・施設・当事者等のニーズを的確につかみ課題解決していくため、コーディネーターによる相談・斡旋業務を実施しました。

ボランティア調整件数：4件（傾聴ボランティア）

(イ) 大垣市ボランティア連絡協議会の支援 【資料1】

a 役員会の開催：毎月第1木曜日

計9回（4月、5月、8月中止）

b 各部会の開催

c 主催、協力イベント

岐阜県ボランティア・市民活動フォーラムへの参加（役員研修）

と き：12月3日（木） Zoomによるオンライン参加 参加者8人

大垣市総合福祉会館 4階研修室にてパブリックビューイング開催

イ ボランティア登録・活動保険・行事用保険加入の斡旋・器材等の便宜

(ア) ボランティア登録の充実

・団体 168団体、9,081人（令和元年度 172団体、9,799人）

・個人 60人（令和元年度 44人）

(イ) 保険の紹介と斡旋機能の充実強化

a ボランティア活動保険加入者数

	通常プラン (350円)	天災プラン (500円)	合計加入数
個人	17人	6人	23人
団体	3,608人	166人	3,774人
合計	3,625人	172人	3,797人

b ボランティア行事用保険加入者数

	A1 (28円)	A2 (126円)	A3 (248円)	B (241円～)	C (28円)
加入者数	3,331人	0人	0人	0人	600人
件数	47件	0件	0件	0件	12件

c ふれあいサロン保険加入者数

	Aプラン (13円)	Bプラン (27円)
加入者数	5,611人	863人
件数	47件	6件

d 福祉サービス総合補償加入者数

	Aプラン (17 円)	Bプラン (28 円)	Cプラン (42 円)	オプション 感染症保障 (1 円)
加入者数	2,299 人	0 人	0 人	1,827 人
件数	7 件	0 件	0 件	5 件

e 送迎サービス補償加入者数

	Aプラン (1 日 20 円)	Bプラン (年間 2,000 円) 法定乗車定員合計 20 人
加入者数	440 人	220 人
件数	3 件	1 件

ウ 災害救援ボランティアセンター

- (ア) 大垣市総合防災訓練において、災害現地ボランティアセンターを設置し、災害時におけるボランティアセンターを設置し、災害時におけるボランティア派遣の訓練を実施するもの。

と き：令和 2 年 8 月 30 日 (日) 〈中止〉

ところ：西小学校

- (イ) 大垣市社会福祉協議会地域福祉課にて、災害ボランティアセンターの立上げ訓練とロールプレイングを実施しました。

と き：令和 2 年 12 月 11 日 (金)

ところ：総合福祉会館

- (ウ) 大垣市災害ボランティア連絡会議への参加

平時からの顔の見える関係づくりと、災害時の連携の確認のため参加しました。

と き：令和 2 年 12 月 17 日 (木)

ところ：総合福祉会館

エ 広報活動事業

- (ア) マスコットキャラクター (あいちゃん) の周知

ボランティアセンター情報誌、募集用紙、ブログ、ホームページ、YouTube で PR しました。

- (イ) ボランティア情報誌の発行 (1 月、3 月発行)

- (ウ) ブログの活用

インターネット (ブログ) にて講座情報や助成金情報の紹介をしました。

- (エ) ボランティアセンターに設置してあるコピー機・印刷機の利用提供

コピー機・印刷機の提供をしました。

コピー機 1 枚 5 円

印刷機 無料 (紙持参、30 枚以下はコピー機使用。)

オ ボランティア活動支援

使用済み切手収集ボランティア(年間) 133 団体、195 人

約 30 万円の収集 今年度換金分 20,000 円

使用済み切手整理ボランティア NTTOB むすびの会 個人ボランティア 13 名

(2) ボランティア育成研修事業

ア 育成研修事業

(ア) 障がい児・者サポートボランティア養成講座

障がい児・者に対し理解を深めるとともに、障がい児・者が地域で共に生活するためのサポートボランティアの育成を目的とした講座。〈中止〉

(イ) 初心者ボランティア講座

「ボランティアとして活動することの楽しさ」「誰かの役に立つ喜び」など体験を通じて学び、次のボランティア活動参加への動機づけとなるような学びの機会を目的とした講座。〈中止〉

(ウ) わくわくサマーチャレンジ(臨時事業)

コロナ禍における子どもの居場所が少ない状況の中で、感染予防に配慮し、学習支援やボランティア体験を通じた子どもの居場所づくりを目的に実施しました。

と き：令和2年8月4日(火)

対 象：市内在住の小学生 1年生～6年生

定 員：10名

内 容：学習会(持参した宿題を行いました)

体験会 防災体験(防災についての説明、段ボールベッド体験、非常食体験)

(エ) 企業向け介護講座

市民の幅広い年齢層の方々に介護技法を学んでいただく機会を設け、日常業務、また、ボランティア活動への促進へつなげるための講座。

企業向けに車椅子の操作方法などの動画を作成し、社協公式 YouTube にてオンデマンド講座を開催。

西濃地域協議会加盟企業に啓発チラシ(220部)を配布しました。

(オ) 傾聴ボランティア講座

高齢者等の方のお話に耳を傾け、心を癒していただけるお手伝いをする傾聴ボランティアの養成を目的に実施しました。

と き：2月2日(火)

対 象：傾聴ボランティアに興味のある方

開 催：オンライン(Zoom)

大垣市総合福祉会館研修室にてパブリックビューイング開催

参加者：オンライン11名 パブリックビューイング15名

講 師：傾聴ボランティア「みみの木」 早川一枝氏

(カ) 学習支援サポーター養成講座

何らかの困難を抱える子どもたち、若者への学習支援ボランティアを養成することを目的とし実施しました。

と き：2月23日（火・祝）

開 催：オンライン（Zoom）

大垣市総合福祉会館にてパブリックビューイング開催

対 象：学習支援に興味のある方

参加者：オンライン13名 パブリックビューイング2名

内 容：講演『学習支援・居場所づくりの意義と課題』

講師：愛知工業大学 准教授 川口 洋誉 氏

実践報告『学習支援の活動の様子』

あしたの支援室 伊藤 桂子 氏

イ ふれあい交流事業

(ア) ボランティア交流会

ボランティア活動団体及び個人との交流・情報交換を行い、今後の参考にまた、活動の充実を図ることを目的に実施しました。

と き：3月6日（土）

対 象：市内で活動のボランティア、ボランティアに興味のある方

内 容：コロナ禍で活動しているボランティア団体の実践発表

新型コロナウイルス感染予防のため大垣市総合福祉会館5階ホールでの開催は中止とし、交流会として企画していた「コロナ禍でのボランティア活動の発表」を動画にて作成し、DVD配布、大垣市社協公式YouTubeにて配信しました。

(イ) 高校生清掃活動

a 高校生ボランティアによる歳末訪問活動。（清掃、高齢者等との交流）〈中止〉

b 高校生歳末メッセージ（臨時事業）

コロナ禍、高齢者と高校生がつながることを目的に、市内9校の高校生に高齢者の皆様への歳末メッセージを募集し、希望者に配布しました。

募集対象：市内高校に通う生徒（9校）

対象者（配布先）：昨年度高校生歳末清掃を希望されている高齢者等（計24名）

募集期間：令和2年12月1日（火）～令和2年12月22日（火）

配付期間：令和2年12月23日（水）～令和2年12月25日（金）

参加希望：大垣東、大垣北、大垣商業、大垣工業、大垣桜、清凌高校（計484枚）

高校生歳末メッセージ配布数 100通 令和3年1月食事サービス利用者へ配布しました。

(ウ) 子育て支援事業（臨時事業）

a ときどきキッズチャレンジ

コロナ禍において、子育てサロン（にこにこコアラ）やイベントが開催できない状況の中で、感染予防に配慮し、子どもが楽しめるイベント、子育て世代の交流の場を提供することを目的に実施しました。

と き：令和3年2月5日（金）

対 象：市内在住の親子

定 員：10組（20名）

内 容：節分に合わせ、鬼のピニャータ（メキシコのお祝い事で使う日本のくすだ玉のようなものにお菓子を つめたもの）を親子で作成し、新聞紙等を丸めた物を吊るした鬼のピニャータに投げて、中のお菓子を落とすイベント。

新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴い、参加者が集まらなかったため、お菓子の詰め合わせを、福祉会館に来館された、子育て世帯に対し配布しました。

（エ） 福祉ふれあいボランティアフェスティバルの開催〈中止〉

（3） 福祉教育協力校指定事業

ア 福祉教育協力校指定事業

市社協福祉協力校の指定 【資料2】

市内の保育園（21園）・幼保園（7園）・幼稚園（10園）・小（22校）・中（10校）・高等学校（8校）を福祉協力校に指定し、児童・生徒に「福祉の心」を育てることに努めました。

イ 福祉協力校援助事業

（ア） 福祉協力校事業報告書の作成

（イ） 講演会、研修会への講師派遣や紹介

講師派遣：26件

視覚障がいの方、聴覚障がいの方、点訳ボランティアの方、手話ボランティアの方、車いすの方など

（ウ） 体験学習への協力、体験グッズ貸し出し

車いす：14件、高齢者疑似体験教材：11件、アイマスク：4件

ウ 福祉協力校研修事業

福祉協力校連絡会の開催

と き：2月21日（金）〈書面開催〉

対 象：福祉協力校（大垣市内小中学校・高等学校）福祉教育担当教諭

内 容：1 （1）令和2年度福祉協力校 活動報告

（2）福祉協力校活動報告冊子について

（3）福祉体験学習の流れ

2 「コロナ禍における福祉教育教材」の活用について

あなたのまちでやさしさをひろげるために

～思いやり・つながり・支えあう～

エ 子どもの意見を聞く会

福祉体験を通じて学び、感じ考えたことを市内小・中学校の代表者が発表するもの。

と き：2月1日（土）〈中止〉

ところ：総合福祉会館 5階ホール

テーマ：福祉について日頃感じ考えていること